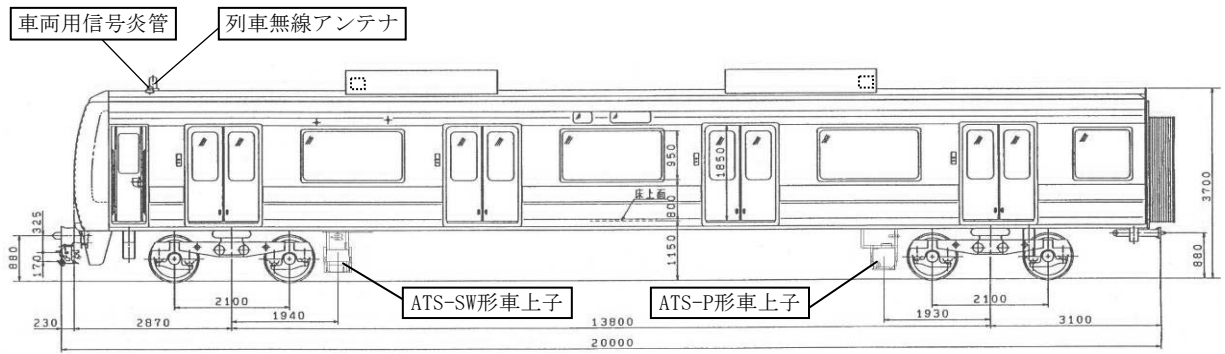
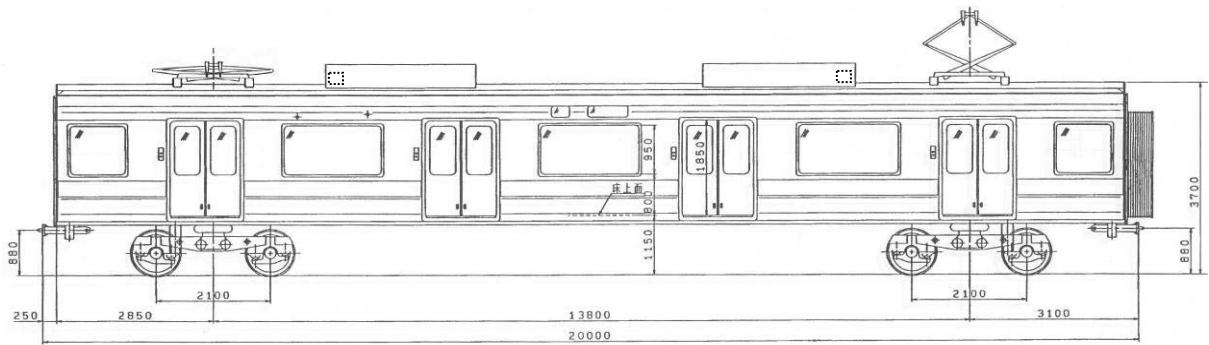


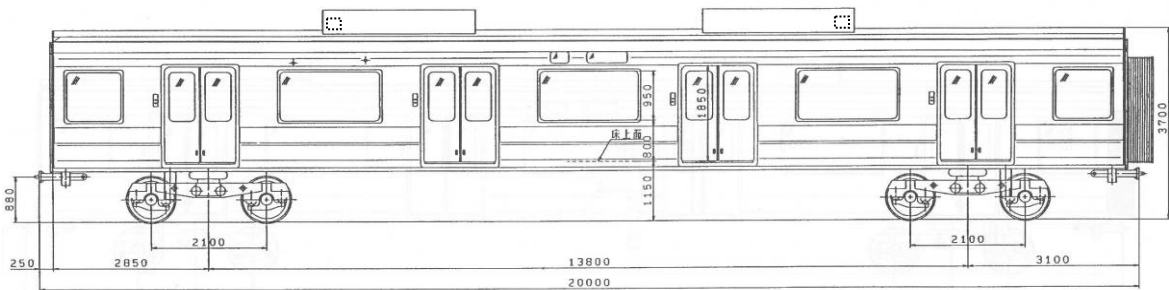
付図14 車両形式図等 (1/3)



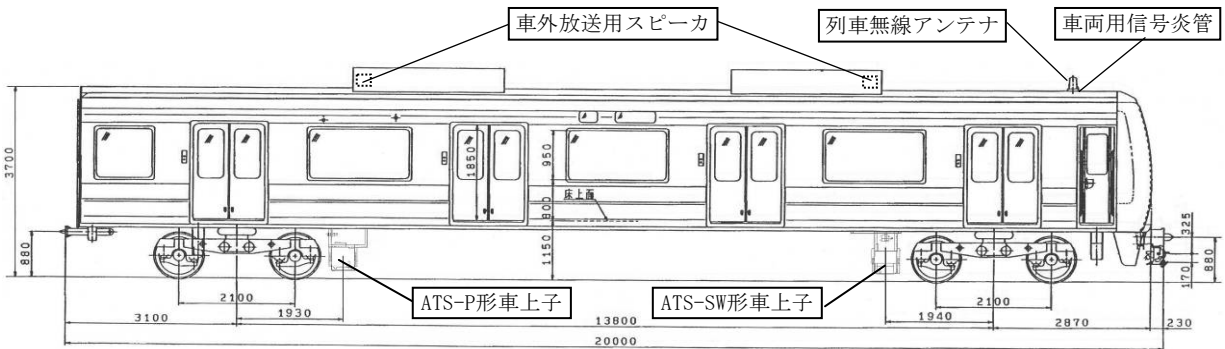
1両目 (クハ207-17)



2両目 (モハ207-31)



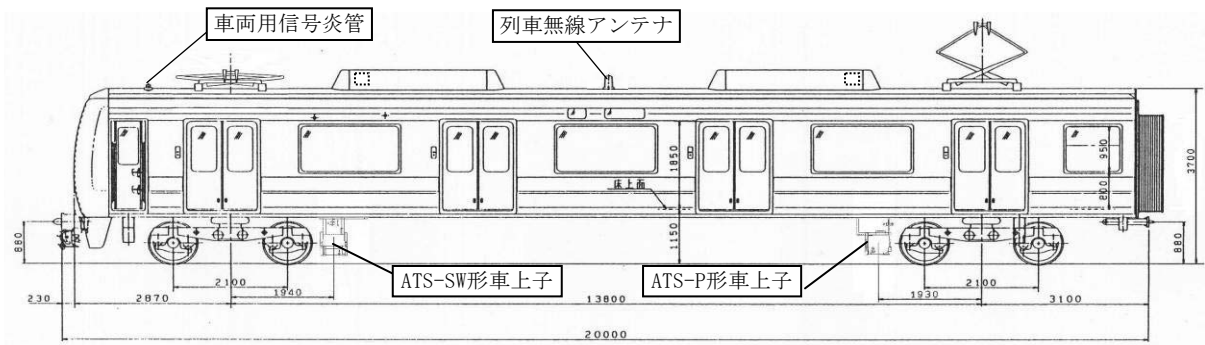
3両目 (モハ206-17)



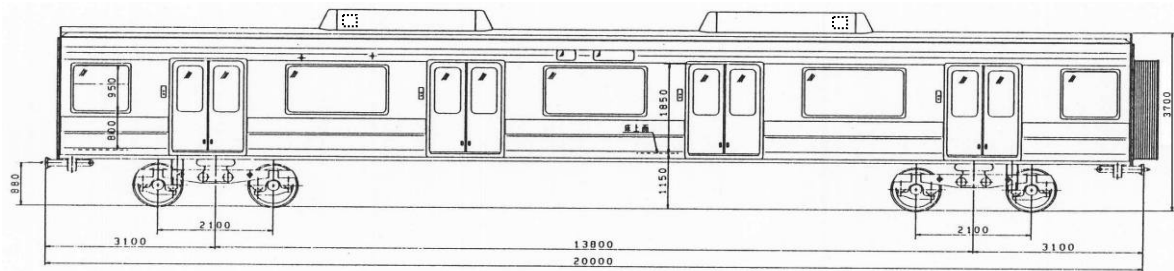
4両目 (クハ206-129)

※ 車外放送用スピーカは各車両の同じ箇所設置されている。

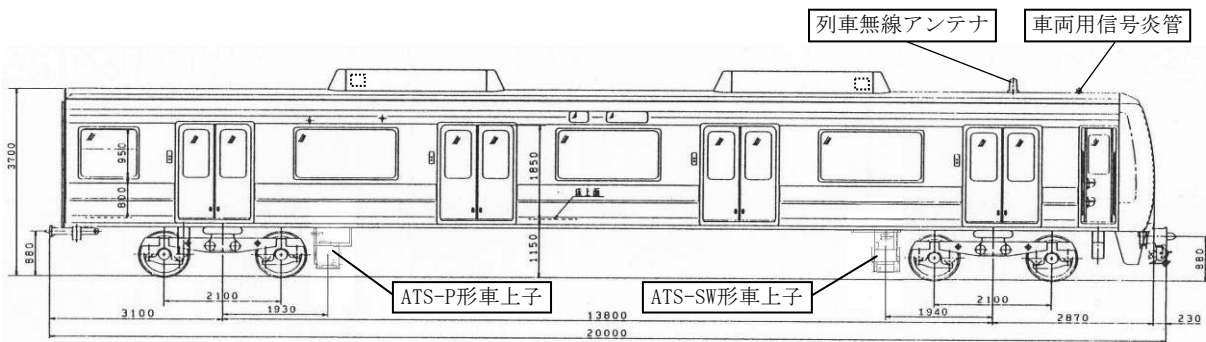
付図 1 4 車両形式図等 (2 / 3)



5両目 (クモハ207-1033)



6両目 (サハ207-1019)



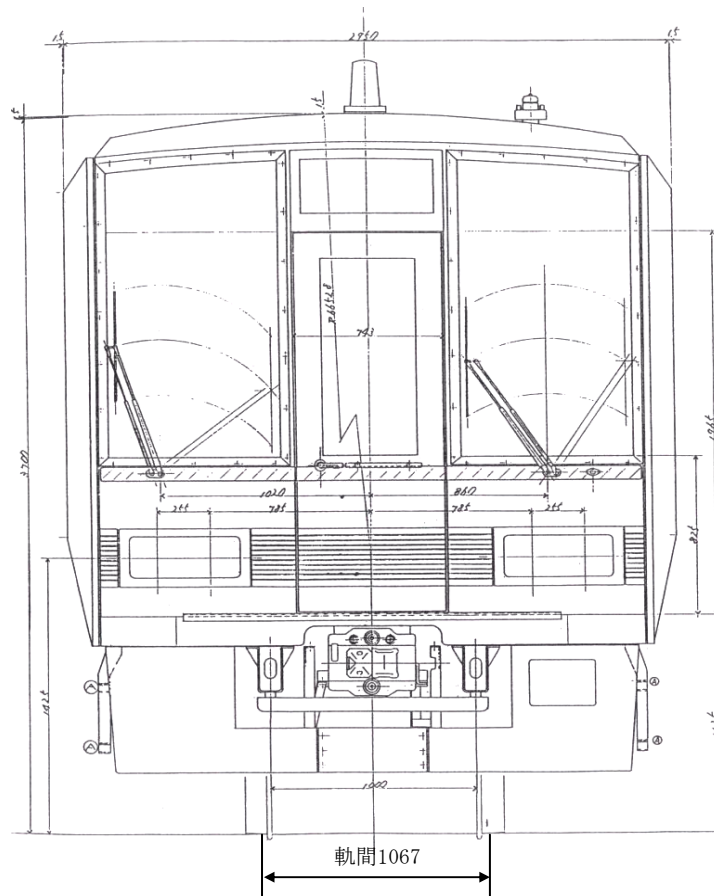
7両目 (クハ206-1033)

主要諸元等

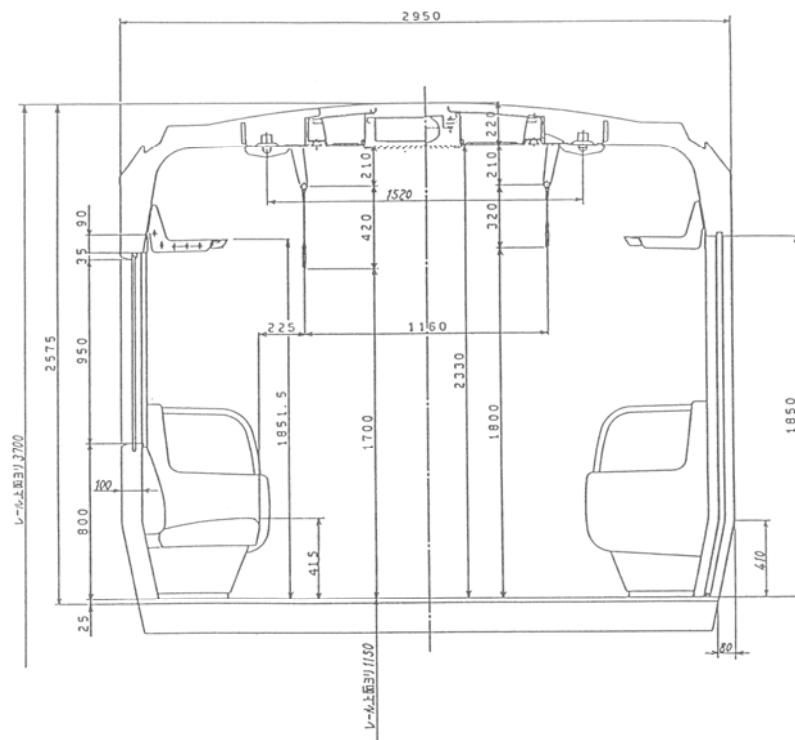
編成位置	1両目	2両目	3両目	4両目	5両目	6両目	7両目
記号番号	クハ207-17	モハ207-31	モハ206-17	クハ206-129	クモハ207-1033	サハ207-1019	クハ206-1033
新製年月	平成4年2月	平成4年2月	平成4年2月	平成4年2月	平成7年3月	平成7年3月	平成7年3月
空車質量 (t)	26.3	35.2	32.2	26.3	37.4	24.8	27.8
定員 (人)	150	163	163	150	150	163	150
車両長 (m)	20.000						
屋根高 (m)	3.700						
車体幅 (m)	2.950						
モニタ装置	旧型	旧型	旧型	旧型	新型	新型	新型
E B装置	無し	—	—	無し	有り	—	有り
T E装置	無し	—	—	無し	有り	—	有り
列車無線機の子備電源	切換必要	—	—	切換必要	切換必要	—	切換必要
防護無線機の子備電源	切換不要	—	—	切換不要	切換必要	—	切換必要

付図 1 4 車両形式図等 (3 / 3)

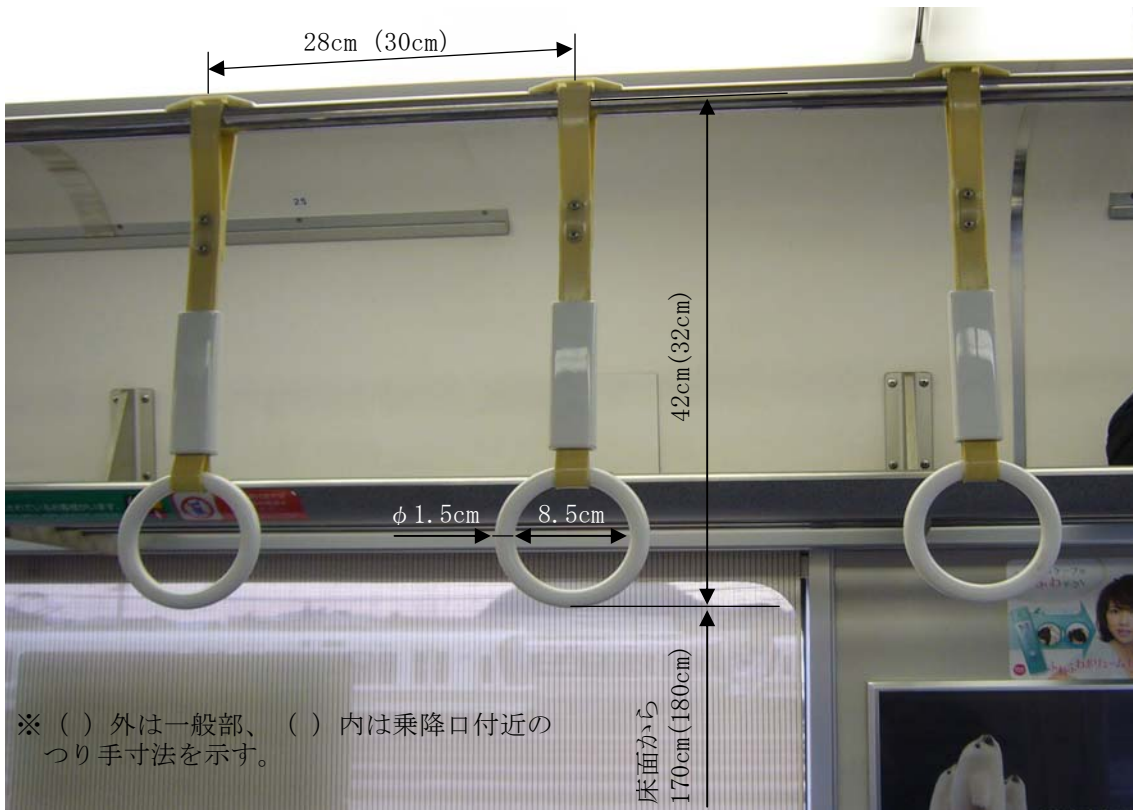
正面図 (クハ207-17)



一般部断面図 (クハ207-17)

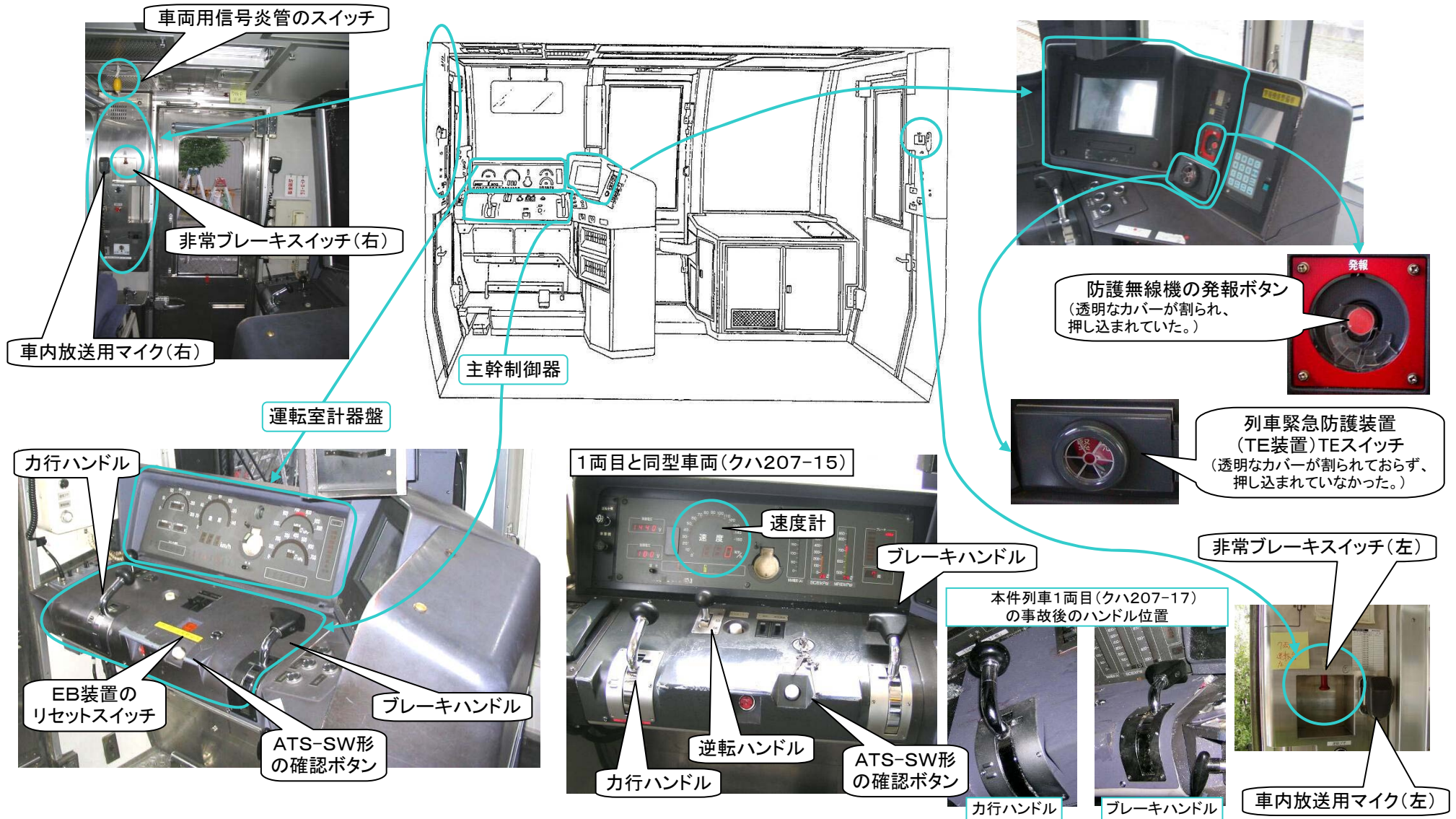


付図 1 5 客室の概要 (本件列車と同型の車両)



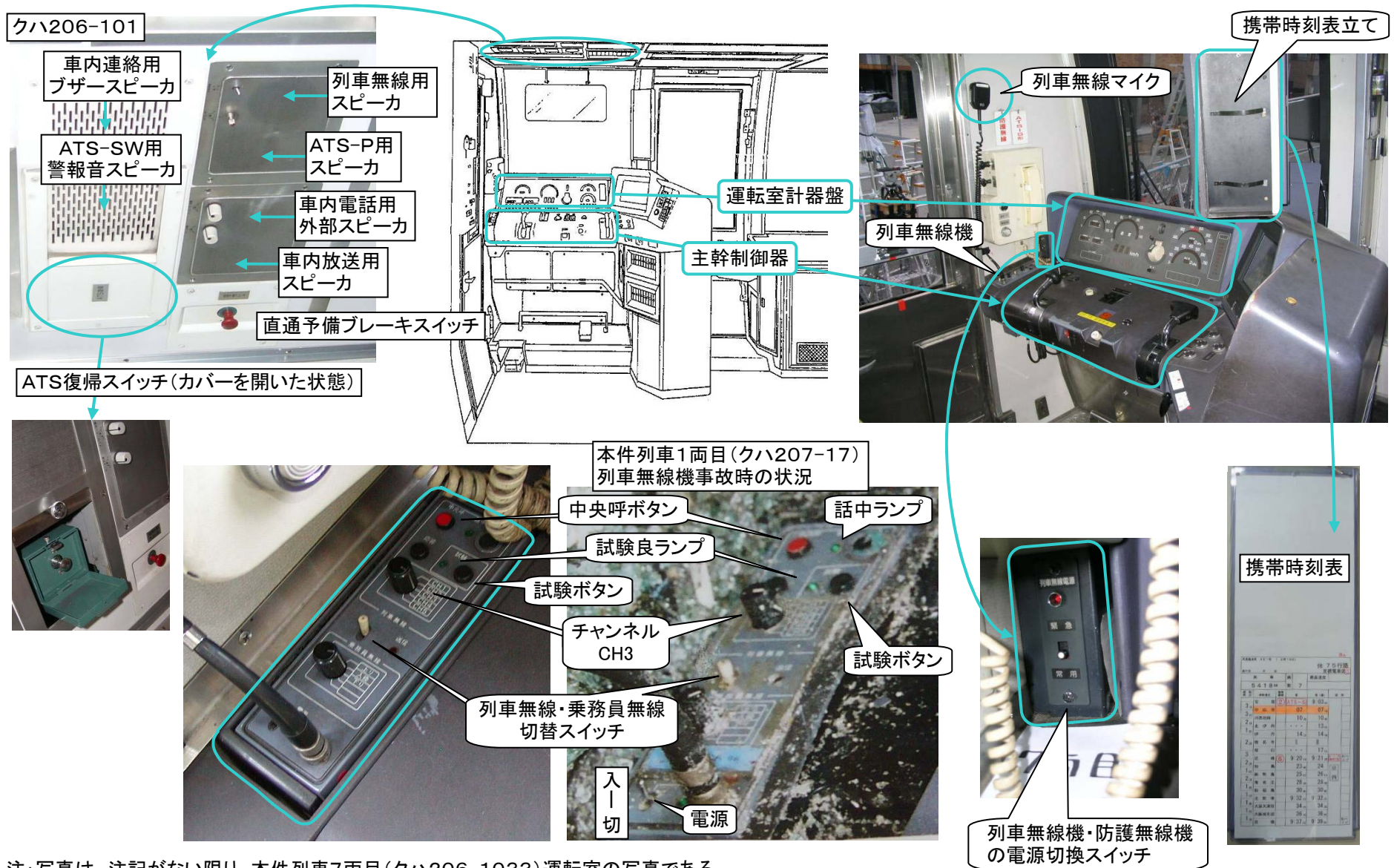
一般部及び乗降口付近のつり手拡大

付図16 運転室機器配置図 (その1)



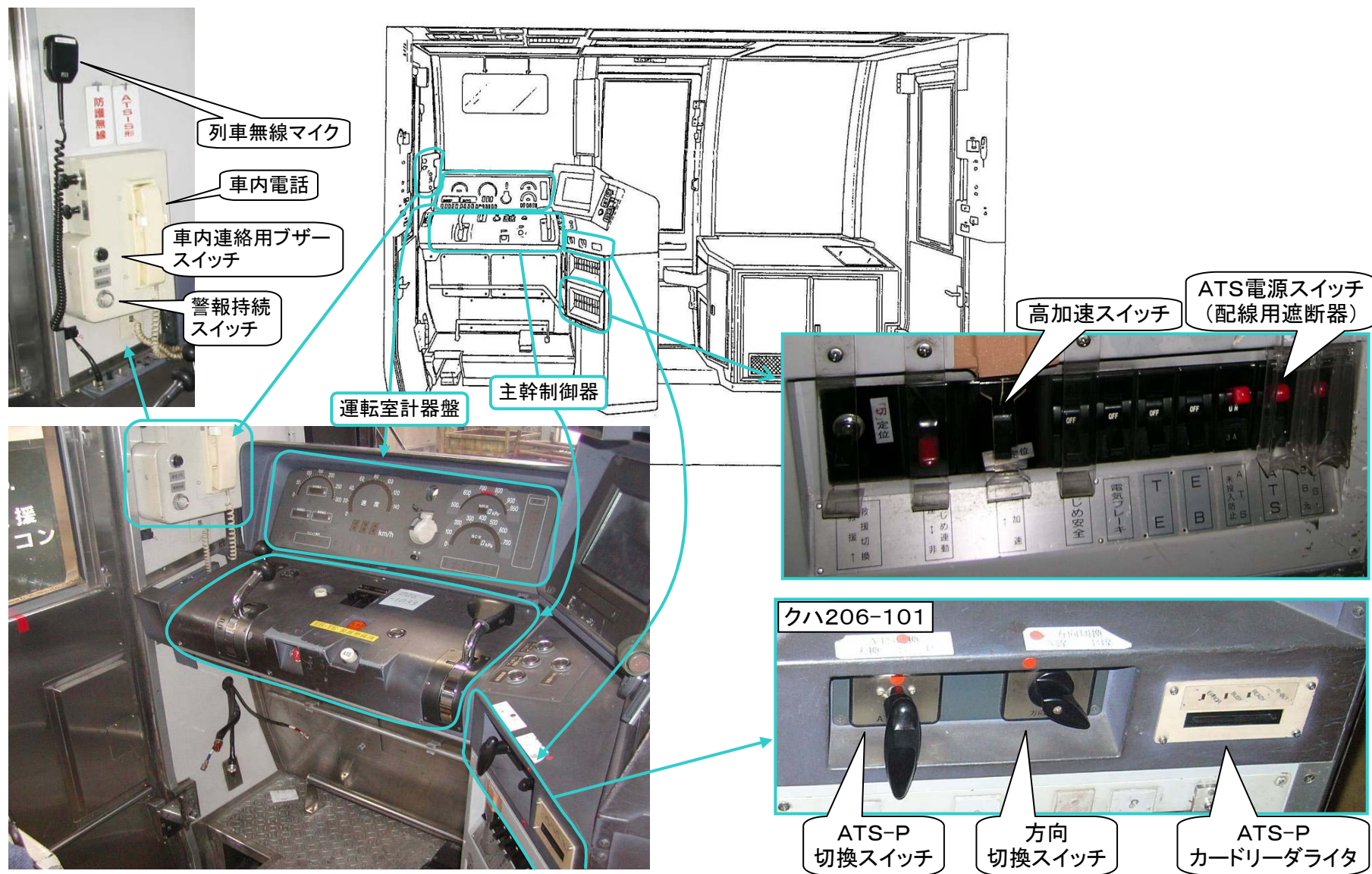
注:写真は、注記がない限り、本件列車7両目(クハ206-1033)運転室の写真である。

付図 1 6 運転室機器配置図 (その 2)



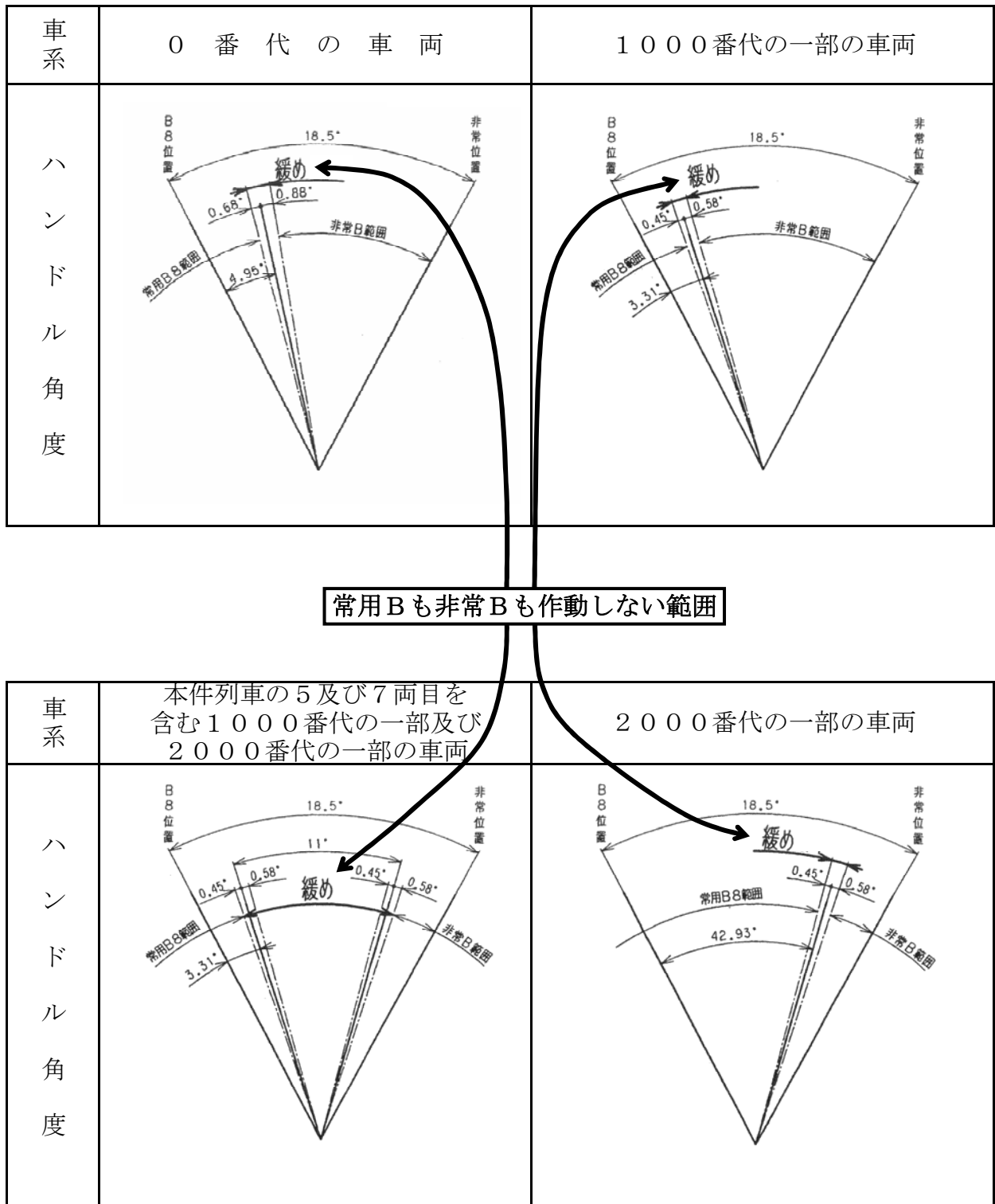
注: 写真は、注記がない限り、本件列車7両目(クハ206-1033)運転室の写真である。

付図 1 6 運転室機器配置図 (その 3)



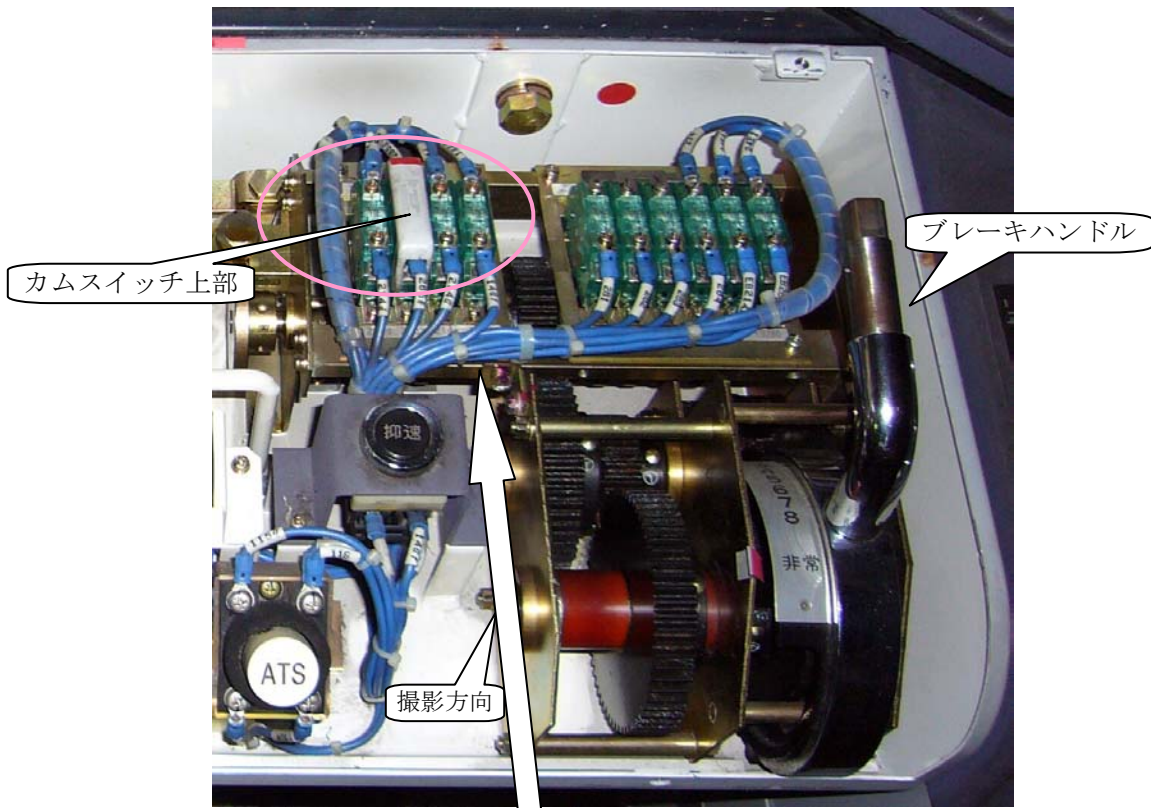
注: 写真は、注記がない限り、本件列車7両目(クハ206-1033)運転室の写真である。

付図17 207系電車のBハンドルの構造（その1）

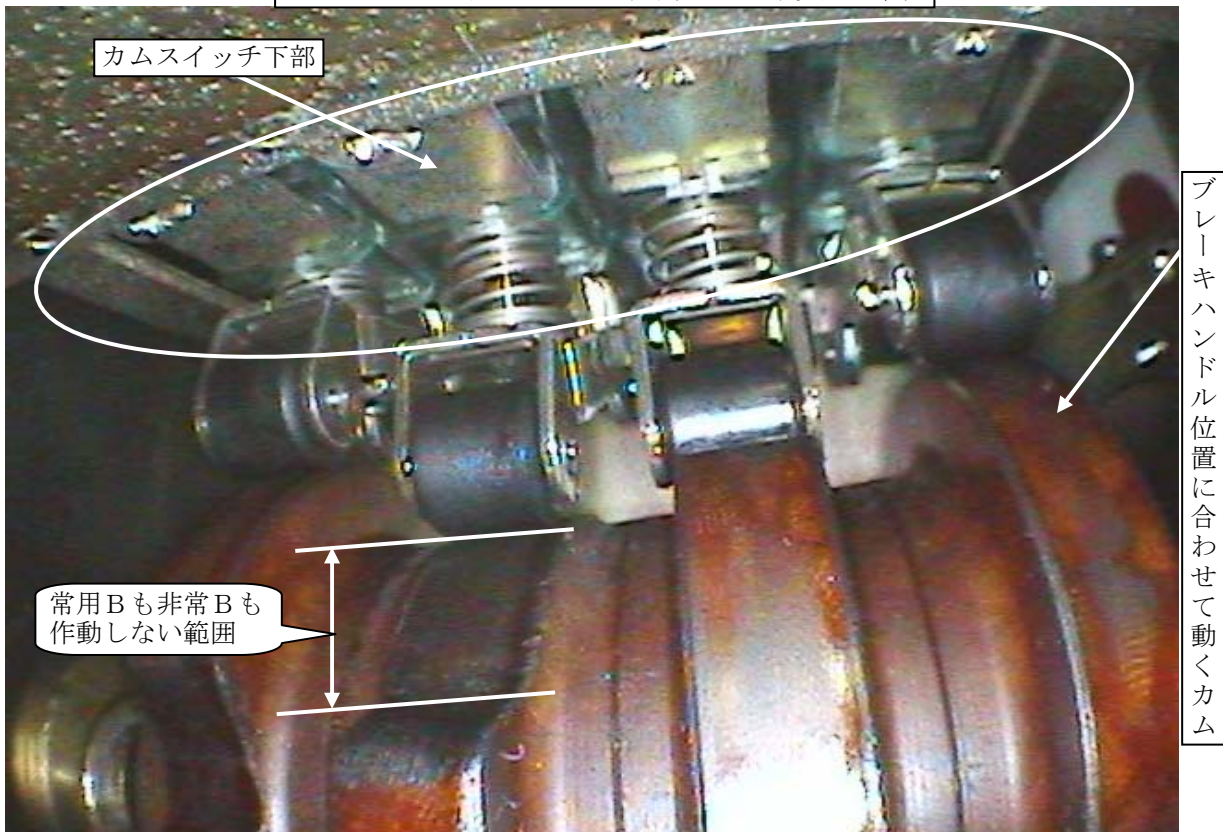


※ 図は、角度を拡大したもの

付図17 207系電車のBハンドルの構造 (その2)



カムスイッチ側面とギヤとの隙間から内部状況を撮影



写真は、本件列車7両目 (クハ206-1033)

付図18 207系電車整備準則（抜粋） 1 / 2

別表2 全般・要部検査 207系電車整備準則

装置	部品	検査項目	検査基準	検査方法	周期区分	標準値・設計値等
14 モニタ制御装置	体	汚損、損傷及び取付状態		確認		
	プリント基板	清掃 基板の焼け、変色及びハンダクラック		清掃 確認		
7. 車両の装置-3計器						
1 圧力計 (2000代のみ)	ブルドン管	漏気	使用最大空気圧力で漏れないこと	確認		
		摩耗		確認		
	リンクピン、センタ及びビニオン幅	指針間のスキマ		確認		2針式 1.0mm以上
		動作	滑らかに上昇下降すること	確認		
		示度誤差	【空気ブレーキ用】 ±10kPa (±0.1kgf/cm ²) 【その他用】 最小目盛の1/2以下	測定		
	EL板	点灯状態		確認		0.4ルクス以上
		端子の取付ユルミ		確認		
	カバー	割れ及び損傷		確認		
	検査票	表示	カバー内面に検査票を貼り付け	確認		
		試験後期間	表示年月の翌月から48ヶ月以内	確認		
使用時期		検査票の年月から3ヶ月以上経過した圧力計を使用する場合は再検査	確認			
2 速度計 (2000代のみ)	指示計(回転界磁式電気速度計装置)	指示範囲	車両取付姿勢基準とし、前後及び左右に30° 傾斜時、指針0点中心とし最大速度の5%以内	確認		
		指示状態	指定電流を急激に加えた時、指針が5秒以内に指定速度の2%以内の速度を指示すること	確認		
		指示先端位置		確認		入力電圧を徐々にスムーズに変化させ、増加、減少時同一電流における指示先端位置の差は1mm以内
		スイープ試験		確認		入力電圧を徐々にスムーズに変化させ、スムーズに上昇すること
		指示誤差(単体)	模擬電流を入れ30,60,80,100及び120km/hの速さにおいて各3km/h以内	測定		
		指示誤差	車輪径別のタップ位置に応じて回転数を変化させ、30,60,100及び120km/hの速さにおいて各3km/h以内	測定		
		電気回路と外箱間絶縁抵抗	500V加圧時10MΩ以上	測定		
	EL板	照度		確認		0.4ルクス以上
	端子の取付ユルミ		確認			
カバー	割れ及び損傷		確認			
検査票	表示	ガラス内面に検査票を貼り付け	確認			

付図18 207系電車整備準則（抜粋） 2 / 2

別表2 全般・要部検査 207系電車整備準則

装置	部品	検査項目	検査基準	検査方法	周期区分	標準値・設計値等
3 電圧計、電流計 (2000代のみ)	指示計	示度誤差 損傷	定格値の±2.5%以内	確認		
	EL板	点灯状態及び照度 端子の取付コルミ		確認		0.4ルクス以上
	カバー	割れ及び損傷		確認		
	検査票	表示	ガラス内面に検査票を貼り付け	確認		
4 計器盤パネル (0、1000代のみ)	LED	点灯状態及び汚損		確認		
	圧力計	示度誤差	±20kPa以内(±0.2kgf/cm ²)	確認		
	速度計	示度誤差(組合せ)	車輪径別のタップ位置に応じて回転数を変化させ、30,80及び120km/hの上中下の3箇所の速さにおいて各3km/h以内	確認		
電圧計、電流計	示度		確認			
7. 車両の装置－4連結装置						
1 密着連結器	体	亀裂、変形及び取付状態	磁粉探傷検査による 開口部3mm×長さ5mm×深さ3mmが1箇所以上 開口部1mm×長さ1mm×深さ1mmが3箇所以上の場合は加修	確認		
	錠挿入部	摩耗	【修繕限度高さ】 142mm 【修繕限度幅】 122mm	確認		
	突起部	摩耗	【修繕限度高さ】 139mm 【修繕限度幅】 119mm	確認		
	錠ハンドル接触部	摩耗		確認		
	継手挿入部	摩耗	【幅】 105mm以下	確認		
		ブッシュ摩耗	1.5mm以下	確認		
	連結面	摩耗		確認		
		偏摩耗		確認		2mm以内
	錠ハンドル尾端と体	スキマ	【開放時】10mm以上 【連結時】標示の範囲内	確認		
	戻しバネ	亀裂、変形、摩耗及び劣化		確認		
	錠ハンドル	根元摩耗 動作		確認 確認		1.0mm以内
	詰めゴム座金バネ	自由高さ	【元ダメ及びブレーキ管】53±2mm	測定		
	詰めゴム座受け内、外径	摩耗		確認		【内径】 元ダメ管・ブレーキ管:55mm以下 【外径】 元ダメ管・ブレーキ管:74mm以下